

東京大学医科学研究所ヒトゲノム倫理審査委員会 平成25年度第5回議事要旨

日時： 平成25年10月7日（月） 15:00～15:50
場所： 1号館2階会議室
出席者： 古川委員長
水本、小池、佐々、渡邊、渋谷、稲生の各委員
陪席者： 神里研究倫理支援室特任助教
菊池研究支援課長、研究推進チーム高田専門員、吉田主任、岩本主任

（議事）

1. 倫理審査申請書の審査について

(1) 25-46 「次世代シーケンサーを用いた免疫細胞の発現解析」（新規）

（申請者：DNA情報解析分野・教授・宮野 悟）

本研究について、分担研究者である井元 清哉 准教授及び山口 類 講師から研究内容について説明があり、対象者、本所における解析対象、共同研究機関等について質疑応答が行われた。審議の結果、以下の点を修正することを条件に承認することとした。

- ① 研究課題について、主たる共同研究機関の課題名との関連がより明確になるよう、「～発現解析」を「～遺伝子発現解析」とすること。
- ② 申請書2・3 1) ①「必要な対象者の選択方針および内訳〈未成年・妊婦・高齢者・死者を含むか?〉」の対象者数を修正すること。
- ③ 申請書6. 1) 「研究結果の開示方針」の理由の記載について、試料提供機関における開示方針を確認し、当該方針によるものである旨の記載に修正すること。
- ④ 主たる共同研究機関の書類の、各試料提供機関での倫理審査承認状況の記載について、すべての提供機関が網羅されているか確認し、必要に応じて追加資料の添付や本所における申請書類の記載を修正すること。

なお委員から、申請様式の更新について確認があった。

(2) 23-37 「シーケンス解析によるヒト疾患の原因遺伝子の同定」（変更）

（申請者：DNA情報解析分野・教授・宮野 悟）

本件の変更内容について、分担研究者である渋谷 哲朗 准教授から説明があり、試料、海外における同意取得状況等について質疑応答が行われた。審議の結果、特に問題等の指摘はなく、これらを承認することとした。

なお、渋谷委員は本研究の分担研究者であるため、本件の審議・採決に不参加である。

なお委員から、次回からは変更申請時にも、フローチャートが添付されていると分かり易いとの意見があった。

(3) 24-53 「臍帯および臍帯血由来細胞の系統的資源化（バンキング）とその応用に関する研究」（変更）

（申請者：セルプロセッシング・輸血部／先端医療研究センター・部長／教授・東條 有伸）

本件の変更内容について、分担研究者である長村 登紀子 講師から説明があり、審議の結果、特に問題等の指摘はなく、これらを承認することとした。

2. 修正の報告

委員長から、以下の申請について修正を確認し承認した旨説明があり、了承された。

- ・ 25-18
「臍帯血・臍帯由来間葉系幹細胞（MSC）を用いた骨・軟骨再生医療の基盤研究」
（申請者：セルプロセッシング・輸血部・講師・長村 登紀子）
- ・ 25-34
「胃病変及び消化管細菌叢に対する遺伝子解析による、ヘリコバクター・ピロリ菌感染者の予後関連因子の解析」
（申請者：ヒトゲノム解析センター・准教授・松田 浩一）
- ・ 25-35
「脳腫瘍における細胞増殖因子シグナルの変異解析」
（申請者：先端がん治療分野・教授・藤堂 具紀）
- ・ 20-63（変更）
「国際がんゲノム（遺伝子）コンソーシアム研究」
（申請者：DNA情報解析分野・教授・宮野 悟）
- ・ 24-53（変更）
「臍帯および臍帯血由来細胞の系統的資源化（バンキング）とその応用に関する研究」
（申請者：セルプロセッシング・輸血部／先端医療研究センター・部長／教授・東條 有伸）

3. 迅速審査の報告

委員長から、以下の申請について迅速審査により承認した旨説明があり、了承された。

- ・ 25-58（変更）
「次世代シーケンサー解析支援」
（申請者：DNA情報解析分野・教授・宮野 悟）

4. 前回（平成25年度第4回）議事要旨の内容について承認した。

5. その他

各機関における倫理審査の状況及び審査基準等について、意見交換が行われた。

以 上